

本誌によって、村民の皆さんが、郷土日吉村を深く理解し、本村伝統の愛郷の精神を培われ、日吉村のさらなる発展と、村民福祉の向上のよすがともなれば、これ以上の幸せはありません。
ここに日吉村誌第二版の発刊にあたり所感を述べると共に、本誌の編集にあたっていただいた、編集委員各位の御労苦と御協力、御指導を賜った方々に厚く感謝を申しあげ、序といたします。

平成五年四月一日

日吉村長 山本光男

目次

序	1	第三章 集落及び自治の変遷	52
第一章 自然誌	1	第一節 沿革	52
第一節 位置及び面積	1	(一) 集落及び自治体	52
第二節 地質	2	(二) 執行機関	54
第三節 気象	4	(三) 議決機関	75
第四節 生物	5	第二節 村名、大字名の由来	93
(一) 植物	5	第四章 地積及び戸口の変遷	95
(二) 動物	13	第一節 地積の推移	95
第五節 変災	15	第二節 国土調査(地籍調査)	98
第六節 変災対策及び消防団	19	第三節 戸口	100
第二章 人文誌	24	第四節 地区図	104
第一節 沿革	24	第五章 官公署及び駐在機関	178
第二節 武左衛門を中心とする農民一揆	32	第一節 庄屋所	178
第三節 宮の下騒動	49	第二節 官公署	180

- (一) 警 察……………180
- (二) 日吉郵便局……………181
- (三) 父野川郵便局……………184
- (四) 松山地方務局日吉出張所……………185
- (五) 四国旅客鉄道株式会社日吉自動車営業所……………185

第三節 駐在機関……………187

- (一) 農業改良普及員……………187
- (二) 林業経営指導員……………188
- (三) 四国配電日吉散宿所……………189

第六章 経済及び財政……………190

第一節 経済の推移……………190

第二節 経済団体……………200

- (一) 農業協同組合……………200
- (二) 森林組合……………217
- (三) 銀行……………228
- ① 大洲銀行日吉出張所……………228
- ② 愛媛相互銀行……………229
- ③ 高知相互銀行……………229
- (四) 日吉村商工会……………229

- (五) 日吉村養蚕農業協同組合……………236
- (六) 縫製工場ほか……………239
- (七) 建設業……………240

第三節 財 政……………240

- (一) 租税の沿革……………240
- (二) 村の予算、決算……………246
- (三) 村有財産……………249

第七章 生 業……………254

第一節 沿 革……………254

第二節 農 業……………256

第三節 林業・鉱業・工業……………263

第四節 商業その他……………266

第八章 教 育……………270

第一節 教育制度の変遷……………270

一 近 世……………270

- (一) 藩政時代の吉田藩領内の状況……………270
- (二) 寺子屋・私塾などの民間教育……………272

二 近 代……………273

(一) 明治維新と学制……………273

(二) 教 育 令……………274

(三) 学 校 令……………275

(四) 明治中期ごろの愛媛県下における小学校数……………275

(五) 明治時代後半以降の状況……………276

(六) 戦時体制の高揚と諸制度(大正三年―昭和十五年)……………277

(七) 戦時下(太平洋戦争)の教育体制とくらし(一九四一年―一九四五年)……………278

三 現 代……………279

- (一) 戦後の教育行政改革(昭和二〇年―昭和三五年)……………279
- (二) 経済発展にともなう教育諸施策及び日吉村教育施設の整備・統合(一九六一年―一九九二年)……………289

第二節 学校教育……………299

一 小・中学校の沿革……………299

- (一) 日吉小学校……………299
- (二) 父川小学校……………310
- (三) 日吉中学校……………316
- (四) 富母里小・中学校……………322
- (五) 各校児童生徒数の変遷……………328

二 その他の学校……………329

- (一) 愛媛県立北宇和高等学校日吉分校……………329

(二) 明治・大正期の私立日吉実業学校(明治三十九年五月―大正四年)……………343

第三節 社会教育……………357

一 沿 革……………357

- (一) 戦前の社会教育……………357
- (二) 戦後の社会教育……………358
- (三) 社会教育委員……………358
- (四) 歴代の社会教育主事……………359

二 公民館活動と社会教育……………359

- (一) 中央公民館建設と大野作太郎地質学教室……………359
- (二) 日吉村公民館婦人部連絡協議会の発足……………364
- (三) 公民館婦人部歴代会長氏名一覽……………364

三 社会教育の状況……………365

- (一) 青年団の変遷……………365
- (二) 婦人会の変遷……………366
- (三) P・T・A(父母と教師の会)……………367
- (四) 愛護班(会)活動……………369
- (五) その他の諸団体……………369
- ア 社会体育(体育協会)……………369
- イ 同和教育協議会……………371
- ウ 生活文化若者塾「一希を起こす会」……………372

ニ 壮年会	373
オ 老人クラブ連合会	375
カ 日吉文化協会	376
キ 交通安全協会	376
(六) 日吉村文化財対策	377
第四節 教育委員会	379
一 沿革	379
二 教育委員就任者一覧	380
三 歴代教育長一覧	383

第九章 軍事	384
(一) 明治二七、八年戦役	385
(二) 明治三七、八年戦役	385
(三) 太平洋戦争(第二次世界大戦)	387

第二〇章 宗教	396
第一節 概説	396
第二節 神社	398
(一) 日向谷(綿津見神社)祭神 豊玉彦命	399
(二) 上鍵山(日吉神社)祭神 大山祇命	400

(三) 父野川(黄幡神社)祭神 天照大神	403
(四) 上大野(熊野神社)祭神 天照人命	404
(五) 下鍵山(大日吉神社)祭神 大山祇命	405
第三節 寺院	405
(一) 如意山医王寺	406
(二) 泉福山宗楽寺	406
第四節 その他の宗教	409
(一) 天理教土居郷分教会(下鍵山)	409
(二) 金光教(下鍵山)	410
(三) ミニ四国八十八か所日吉霊場(父野川)	411

第一章 民俗	413
第一節 概説	413
第二節 衣食住	414
第三節 年中行事	416
第四節 冠婚葬祭	428
第五節 言 語	432
第六節 俗謡、娯楽	445
(一) 俗 謡	445
(二) 娯 楽	450

第二章 民生	452
第一節 民生事業制度の沿革	452
第二節 本村の民生事業	454
(一) 生活保護	454
(二) 老齢福祉年金	455
(三) 身体障害者	455
(四) 保育園	456
(五) 診療施設	457
(六) 上水道施設	462
(七) 社会福祉協議会	465
(八) 民生委員その他	465

第四章 名所旧蹟	527
第一節 概説	527
第二節 史蹟	528
(一) 勝山城址	528
(二) 萩森城址、出口城址	530
(三) 神社、寺院、墓地	532
(四) 富母里の水銀鉱	535
(五) 歴史的な碑文など	535
(六) 伝説、民話など	568
第三節 名 勝	597
(一) 勝山城址	597
(二) 武左衛門広場	597

第三章 交通・通信	471
第一節 交通	471
(一) 道路の開設	471
(二) 交通機関	518
第二節 通信	519

第四章 天然記念物	599
第一節 人物小伝	600
(一) 土佐和紙の祖・新之丞(一五六〇～一五九六ごろ)	600
(二) 武左衛門(一七五八～一七九五)と吉田騒動	613
(三) 芝四郎兵衛	637

四	日の出山（吉川清治）	638
五	井谷正命（一八六七〜一九三四）	639
六	寺部知性	643
七	立野幸潤	644
八	大野作太郎（一八八六〜一九六八）	646
九	井谷正吉（一八九六〜一九七六）	648
一〇	清家紫朗（一九〇一〜一九八〇）	659
附	日吉村誌年表	663

あとがき

第一章 自然誌

第一節 位置及び面積

県都松山市からは約八五キロ西南に、また地方の中心地である宇和島市からは約三五キロ隔てた東北部の、郡内最北端の高知県境にある。その領域は、東経一三二度四二分から四六分、北緯三三度一五分から二二分に及び、東南部は高知県幡多郡十和村、東部は高知県高岡郡橋原町に、西は東宇和郡城川町に、西部は広見町、西南は松野町に接している。

いずれも高峻の分水嶺を村境としているが、ただわずかに西部の広見町川上と、西北部の城川町高野子との村境は平坦部で接続している。

村境の高峻には、地藏山の一〇九六・三メートルを最高として、高研山一〇五五・三メートル、御在所山九〇八・一メートルのほか、長山等一〇〇〇メートル級の山々がそそり立ち、それらの支脈がそれぞれ村内を縦横に走り、文

字どおりの山村でその間に、父野川、日向谷川、上鍵山川をはさんでいる。この流域に若干の平坦部があり、そこに人家が点在し、鋸の歯のように起伏に富んだ山裾を染めている地域が、我が日吉村である。

面積は、東西の最長約一〇キロ、南北約一五キロに及ぶ八八・八九平方キロで、その大部分が山林であり、地目別に見ると次のとおりである。

田	一二八・三四ヘクタール
畑	一四九・四四ヘクタール
宅地	三七・九〇ヘクタール
山林	四二七四・〇二ヘクタール
保安林	三四七〇・四七ヘクタール
その他	八二八・八三ヘクタール
計	八八八九・〇〇ヘクタール